

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 ジェイエイ兵庫六甲福祉会	代表者	山脇 利文	法人・事業所の特徴	「地域と共に！～地域の安心拠点を目指して～」を事業所の理念とし、地域から信頼される事業所を目指しています。地域の方が困ったとき、すぐに思い出して気軽に相談に立ち寄っていただける場所になりたいと取り組んでいます。小規模多機能の特性を活かし、「こころ」を大切に、きめ細やかな介護サービスを提供しています。
事業所名	オアシス大和	管理者	上松 美恵子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	1人	1人	1人	人	7人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	小規模多機能が出来る支援についての勉強会を開催し、職員の理解を深めていく。	4月23日、小規模多機能が出来る支援についての勉強会を開催した。	新しい職員がいるので、毎年定期的に勉強会は開いた方が良いのではないか。	小規模多機能が出来る支援についての勉強会を毎年実施し、職員全員の理解を深めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	行事や避難訓練の予定を外に掲示する。	掲示板には作品を貼り出している。外出行事などは掲示していない。	用事がなく来所する機会がないので、わからないことが多い。	事業所内に不快な音やにおいが無いか、毎朝出勤時にチェックする。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所の案内を外に掲示する。地域行事に参加した時にチラシを持参し、興味がある人に知ってもらうようにする。	オアシス通信を事業所の外に掲示している。文化祭や福祉まつりにチラシを持参した。	事業所の存在自体は以前よりも地域住民に知られるようになってきているが、他事業所との違いがわからない。	地域行事に参加したときにチラシを持参、配布し、希望した人には説明する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者と一緒に今まで参加していない催しに出かける機会をつくる。	森のカフェ、大和地区文化祭、福祉まつりに利用者と一緒に出かけ、見学と喫茶を楽しんだ。	各催しの会場には専用のスペースを設けています。車椅子を扱える福祉委員もいるので声をかけてほしい。	利用者と一緒に地区の催しに参加する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で出た意見を事業所の改善に繋げていく。議事録を利用者及びその家族に配布する。	運営推進会議で出た意見を事業所の改善に繋げている。議事録配布が出来ていない。	運営推進会議で出た意見を事業所の運営に活かしてほしい。	運営推進会議で出た意見を事業所の改善に繋げていく。議事録を利用者及びその家族に配布する。
F. 事業所の防災・災害対策	防災計画を、地域と連携し助け合えるような内容にしていく。	地域との連携を盛り込んだ防災計画を作成中。	今年は災害が多く発生したので、その経験を具体的に防災計画に活かしてほしい。	地域の方に参加を呼びかけて避難訓練を実施する。